



# 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月29日

上場会社名 株式会社 エスティック

上場取引所 東

コード番号 6161 URL <https://www.estic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 最高財務責任者 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2024年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年3月21日～2023年12月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,800	4.5	1,026	0.7	1,090	1.0	761	6.4
2023年3月期第3四半期	4,594	4.9	1,034	9.8	1,080	8.3	715	5.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 949百万円 (6.3%) 2023年3月期第3四半期 892百万円 (21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	76.60	
2023年3月期第3四半期	72.08	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,262	9,059	87.1
2023年3月期	9,865	8,326	83.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,934百万円 2023年3月期 8,222百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		23.00	23.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月21日～2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	11.6	1,580	6.4	1,610	4.9	1,111	2.9	111.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	11,768,000 株	2023年3月期	11,768,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,820,235 株	2023年3月期	1,831,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,941,915 株	2023年3月期3Q	9,931,325 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 経営成績の分析

## ① 国内市場

当第3四半期累計期間における日本経済は、日銀短観調査では大企業・製造業の業況判断は3四半期連続上昇し、価格転嫁の進展やインバウンド回復などの影響もあり景況感は改善傾向を示しております。実態経済としては、半導体をはじめとした部材の供給も安定化しつつあります。しかし、外需を中心に設備投資が弱含みな業界もあり、製造業では業種によっては一進一退の生産状況など、順調に推移しつつあるコロナ明けからの景気回復には予断を許さない状況も一部に見受けられます。

そのような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、堅調な自動車販売を背景に自動車業界全体としての設備投資計画は前期を上回る計画を見込んでおりますが、中国の景気鈍化や一部自動車メーカーの不祥事問題なども影響し、第2四半期に増して計画発注時期や納期のタイミングに先延ばしが散見され、当社製品のうちネジ締付装置においては、受注状況は堅調ながら売上高については当初予算を下回る結果となりました。

一方、ハンドナットランナにおいては、昨年より続いておりました半導体不足に起因した仕入部品の供給不足の状況はほぼ改善しており、装置系ハンドナットランナは前述の状況も起因し当初予算を下回ったものの、ハンドナットランナ単体の売上は当初予算を上回る結果となりました。

## ② 米国市場

米国経済は、設備投資の前年比伸び率に鈍化がみられ、製造業においては自動車産業などのストライキの影響もあり、製造業全体では減産基調で推移しております。

当社製品の販売状況においては、既存の顧客に加え、特に米系自動車部品メーカーや農機具関連メーカーなどの新規顧客の裾野が徐々に広がりつつあり、販売先の広がりや比較的新しい顧客の売上拡大に加え円安効果などもあり、ハンドナットランナを中心に全品種において前年同期比を上回る状況となっております。

## ③ 中国市場

中国経済は、消費の低迷、輸出の低迷、不動産不況などにより一層景気減速が進み、内外需共に景気低迷が拡大してきております。

当社主力販売先である自動車産業においても、堅調であったEV関連の設備投資計画が鈍化に転じ、先行き不透明な状況がより増してまいりました。

当社製品の販売状況においては、ハンドナットランナを中心に前年同期比減収となっております。

## ④ その他の市場

その他市場の品種別販売状況については、スペイン、インド、メキシコ、韓国などでハンドナットランナ及びナットランナの需要が前年同期比で増加し、堅調に推移しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上状況は上記の市場環境により、品種別販売状況については、ナットランナ、ハンドナットランナ、サーボプレス、修理点検においては前年同期比増収、ネジ締付装置は前年同期比横ばいとなり売上高4,800百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

利益状況は、比較的利益率の高いナットランナ、ハンドナットランナの売上が堅調に推移したことを受け売上総利益率は増加しましたが、人件費上昇により営業利益1,026百万円(前年同四半期比0.7%減)、売上高営業利益率21.4%(前年同四半期は22.5%)、経常利益1,090百万円(前年同四半期比1.0%増)、売上高経常利益率22.7%(前年同四半期は23.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益761百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

地域別売上においては、海外市場でハンドナットランナやナットランナが堅調に推移したこともあり海外売上比率が増加し、海外売上高3,312百万円(前年同四半期比13.0%増)、国内売上高1,487百万円(前年同四半期比10.5%減)、売上全体に占める海外売上比率は69.0%(前年同四半期は63.8%)、国内売上比率は31.0%(前年同四半期は36.2%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、10,262百万円と前連結会計年度末比397百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、仕掛品が428百万円、原材料が196百万円、未収消費税等が150百万円、有形固定資産が651百万円増加した一方、現金及び預金が710百万円、売掛金が622百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、1,203百万円と前連結会計年度末比335百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、買掛金が66百万円増加した一方、未払法人税等が233百万円、賞与引当金が51百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、9,059百万円と前連結会計年度末比732百万円の増加となりました。増減の主な内訳は利益剰余金が533百万円、為替換算調整勘定が136百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点では2023年4月28日に発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,247,466	1,537,245
受取手形	78,949	35,314
売掛金	1,871,626	1,249,246
電子記録債権	417,494	490,241
商品及び製品	464,635	532,286
仕掛品	223,011	651,308
原材料	1,391,595	1,588,365
未収消費税等	16,755	167,612
その他	132,837	213,607
貸倒引当金	△1,998	△2,037
流動資産合計	6,842,373	6,463,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,580	1,397,920
土地	1,071,534	1,205,850
その他(純額)	397,797	243,541
有形固定資産合計	2,195,912	2,847,311
無形固定資産	41,366	36,014
投資その他の資産		
繰延税金資産	273,903	275,907
その他	512,944	641,295
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	786,048	916,402
固定資産合計	3,023,327	3,799,728
資産合計	9,865,700	10,262,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	273,736	340,221
未払法人税等	296,759	62,990
賞与引当金	110,930	59,652
役員賞与引当金	—	15,075
製品保証引当金	52,000	55,000
その他	432,286	283,255
流動負債合計	1,165,712	816,194
固定負債		
退職給付に係る負債	323,657	334,561
その他	50,074	53,069
固定負債合計	373,732	387,631
負債合計	1,539,444	1,203,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	644,876	647,680
利益剰余金	8,295,508	8,828,570
自己株式	△1,445,179	△1,435,949
株主資本合計	8,052,205	8,597,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,574	54,381
為替換算調整勘定	147,103	283,158
その他の包括利益累計額合計	170,677	337,540
非支配株主持分	103,373	124,250
純資産合計	8,326,256	9,059,092
負債純資産合計	9,865,700	10,262,918

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)
売上高	4,594,602	4,800,639
売上原価	2,381,836	2,462,754
売上総利益	2,212,766	2,337,884
販売費及び一般管理費	1,178,340	1,311,021
営業利益	1,034,426	1,026,863
営業外収益		
受取利息	76	397
受取配当金	3,776	4,025
為替差益	29,040	9,696
持分法による投資利益	10,348	47,634
雇用調整助成金	1,351	-
その他	1,191	2,171
営業外収益合計	45,784	63,925
営業外費用		
その他	40	-
営業外費用合計	40	-
経常利益	1,080,170	1,090,789
特別利益		
固定資産売却益	-	4,603
特別利益合計	-	4,603
特別損失		
固定資産売却損	2,136	-
特別損失合計	2,136	-
税金等調整前四半期純利益	1,078,034	1,095,393
法人税等	349,532	320,503
四半期純利益	728,501	774,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,637	13,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	715,863	761,591



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)
四半期純利益	728,501	774,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,730	30,807
為替換算調整勘定	143,767	118,421
持分法適用会社に対する持分相当額	37,134	25,212
その他の包括利益合計	164,171	174,441
四半期包括利益	892,672	949,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870,004	928,454
非支配株主に係る四半期包括利益	22,668	20,876

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。